

令和6年度 大田区立田園調布小学校 自己評価 報告書

令和7年3月3日

○ 本校の概要

・学校規模(児童数570名、学級数19、教員26名、非常勤講師5名)
 ・学校の教育目標:「よく学び よくあそび よりよく生きる 田小の子」人間尊重の精神を基調とし、自分の将来に夢と希望をもって主体的に学び、日本の文化と伝統を尊重し、国際社会においても信頼と尊敬を得る心身ともに健康で、心豊かな児童の育成を目指す。
 ・校内研究: 主題「よりよい未来をつくるための創造的な資質・能力の育成～教科「おたの未来づくり」新設に向けて～」
 ・特色ある教育活動①「様々な人とのかわりを重視し温かな心と豊かな人間関係を育む学校・地域相互の教育力の向上」自主的な挨拶運動・異学年によるたわり班活動・学校支援地域本部「でんしょう応援団」やおやじの会「DUO」、同窓会「青塔会」を中心とした地域ボランティアなど
 ②「体育の時間以外の体力づくり」日常生活の中で興味をもって楽しく取り組める運動・遊びのきっかけづくりや習慣づくりを家庭と連携しながら行う。
 ・校舎改築に向けた準備や教育課程の工夫と実施を行っている。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄		
								評価人数	コメント	
生予個 き測別 力難標 をな1 育未成 来し社 会を創 造的に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	4: 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	○算数や理科の授業では、論理的、科学的な思考力の育成を目指した。問題解決的な学習の充実を図り、少人数による習熟度別算数や理科指導専門員、理科支援員の活用を今後も継続する。 ○学期の初めと終わり、各行事ごとに児童がキャリアパスポートを書くことで、自分の目標を設定し、自己評価を年間通して行った。適宜、活動の振り返りを行うことで学びを広げたり深めたりすることができた。	A	9	○授業ではいつも子供たちは積極的に発言し、論理的に答え、先生も一人一人のよさを引き出すよう個別最適な学びを推進していただいている。 ○読書の習慣は続けて欲しい。人の話を聞くこと、人の前で自分の意見を発表できる人へ導いてください。 ○STEAM関連教科の横断的な学びについて具体的な推進をより広く公表する努力をしてほしい。
		②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	【児童アンケート】 「友達と協働的学習(学び合い)をすることが楽しい」「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した割合 4:90%以上 3:85%以上 2:80%以上 1:80%未満	3	○年度当初や長期休業中に新しい教育アプリの研修を行い、教員がICTスキルの向上を目指した。これまでの教育実践を基に、教育活動を発展させ、協働的な学習を充実させていく。	B	1	○社会情勢の激しい変動による生活環境の中で、先生方をはじめ、親や友達との協働的な学びをお互いに得られる機会を期待。 ○全体的な私の考えとしては、令和6年度地域教育連絡協議会に出席した時に、校長先生や副校長先生のお話を聞きたり、私が見学させてもらった運動会、展覧会での生徒さんの様子を見ますと、先生方がいかに努力しているか、真面目に取り組んでいるか、ひしひしと伝わってきまして、また生徒たちが一生懸命理解しようとする姿を見ますと「すごいな」と思うわけがあります。評価はすべて最高になります。
		③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	【児童438名回答】 90.9%	2	○これまでの教育活動を通して協働的な活動はどの学年も定着している。校内研究授業(おたの未来づくり)において協働的な学びについて理解を深めることができた。	C		○様々な分野において「考える」というステップを大切にしていると感じています。予測困難な未来社会を切り拓いていくための力の育成を今後ともよろしくお祈りいたします。
		④学びを深め、人間関係を豊かにする「協働的学習」を取り入れ、児童が関わり合いながら学ぶ場面を設定している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		1		D		
お世個 お別 た目 を標 担な2 うが 人材 国を 際育 成都 成市 しま す	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	4: 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	○外国語教育指導員と担当教員が打合せを行い、授業の進度や内容を確認した。今後は児童がさらに外国語(英語)に親しみやすくなるように学習環境を整える。 ○月に1回の人権タイムにおいて、人権教育を行った(人権標語や人権に関するポスター、習字など)。今後も学年の実態に合わせた指導を継続して行うことで互いに尊重し合う心の育成を図る。	A	8	○英語にふれる機会を是非増やしてください。 ○外国語とりいそぎ英語の先生を。田園調布にも英語圏の人物がいます。 ○外国語教育については、外国人とコミュニケーションをスムーズにできるよう意図的にしてほしいと思います。 ○各学年での学びの差はあるものの語学や人権問題に対する考え方に興味をもたせる教育を期待。
		②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	【児童アンケート】 「自分にはよいところがある」「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した割合 4:90%以上 3:85%以上 2:80%以上 1:80%未満	3	○月に1回の人権タイムにおいて、人権教育を行った(人権標語や人権に関するポスター、習字など)。今後も学年の実態に合わせた指導を継続して行うことで互いに尊重し合う心の育成を図る。	B	2	○海外からお越しになる方が多くなり、「多文化共生」というワードはより重要性が高まってきていると思います。国際感覚の形成を今後ともよろしくお祈りいたします。
		③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	【児童438名回答】 88.1%	2	○社会科や総合的な学習の時間等でSDGsについての取組を各学年で行ってきた。下学年でも学習のねらいを地域への関心へとつなげるように計画し、地域とつながる学習活動を増やしていく。	C		
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		1		D		
た一個 め人別 の目 基と標 礎り3 とが な個性 力と能 育力成 ををし 発揮す る	児童・生徒が豊かな人生を生きる上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	4: 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	○指導教諭による道徳の模範授業を参観する機会を設けた。また、道徳教育推進のための伝達講習や授業づくり研修も教員から好評だったので、次年度も行うことで道徳教育の充実を目指す。 ○タブレットドリルに取り組みせ、夏季休業中の個人面談や学期末の保護者会で取組結果を伝えてきた。できていない内容に関しては休業中に課題に再挑戦できるように設定した。 ○年2回、「早寝・早起き・朝ごはん」週間を備え、児童の自己チェックを実施した。結果を「給食便り」で保護者に伝え、生活習慣の大切さを発信した。また体育・健康教育授業地区公開講座において、女子ラグビー選手を招聘し、食生活や睡眠の大切さについての講話があった。給食委員の児童が昼の放送や食育に関するスライドを作り、全学級で「食育」を行った。 ○来年度は改築工事が行われるため、体力向上全体計画や単元計画を再度検討し、運動遊びタイムの実施と児童の運動環境を整備していく必要がある。限られた空間や場で体力向上が図れるように継続して取り組んでいく。	A	10	○改築で校庭に制限がある中でも、体力向上に努めていただいている。駅伝大会でも2位と優秀な成績をおさめた。 ○運動場が使えない期間が長くなりますが、外で遊べる環境(せせらぎ公園や多摩川台公園)を活用したらどうですか。 ○古くから授業の内容や方法について研究熱心に思えます。今後とも他校の情報を取り入れ、研究していただきたいと思えます。 ○児童・生徒達がこれからの社会生活に入り込む初歩として体力・学力向上に更なる工夫、智恵を考えていただきたい。
		②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべての子どもに確かな学力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	【学校公開アンケート】 「子どもたちにとって、分かりやすい授業をしてほしいと思う。」「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した割合 4:90%以上 3:85%以上 2:80%以上 1:80%未満	3	○来年度は改築工事が行われるため、体力向上全体計画や単元計画を再度検討し、運動遊びタイムの実施と児童の運動環境を整備していく必要がある。限られた空間や場で体力向上が図れるように継続して取り組んでいく。	B		○「早寝・早起き・朝ごはん」「食育」「運動習慣の確立」の習慣付け、最高ですね。ぜひすすめてください。
		③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	【保護者182名回答】 97.8%	2	○近隣幼稚園交流を5年生、保育園交流を1年生が行い、新1年生に向けて未就学児童の期待が膨らむ活動を行ってきた。田園調布中、調布大塚小と一緒に授業改善を考える場(小中一貫教育の会)において、情報交換し、各教科ごとに一貫した指導の工夫を検討することができた。	C		○校舎建て替えが本格的になる中、どのように運動時間を確保していくか課題になられることと思います。地域におけるハード・ソフト両面での連携で、運動習慣の定着に今後ともご尽力いただきたいと思います。
		④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		1		D		

学 校 別 力 目 ・ 標 教 4 師 力 を 向 上 さ せ ま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	【保護者アンケート】 「学校(教員)は、子どもの学力向上のために、指導内容や指導方法を工夫し、積極的に取り組んでいると思う」に「よくあてはまる」「あてはまる」と答えた割合 4:90%以上 3:85%以上 2:80%以上 1:80%未満	4: 3: 2: 1:	○夏季休業中に授業改善プランを見直し、授業改善を行った。教員が互いに授業を見合い、意見交換をすることで教師の授業力の向上を図った。 ○OJT研修として、教員によるワークショップを年間6回行った。各教員の授業を小グループで検討することで授業力の向上に努めることができた。 ○昨年度と同様に会議を精査し減らしたことにより、放課後の時間を有効に使うことができた。教員が児童に向き合う時間も増えた。今後も継続していく。	A B C D	10	○教職員の特技をいかしたらいいかが。 ○小学校教育の内容が多様化・高度化しているようです。教員の仕事内容がオーバー気味になっていることもニュースで聞かれています。このような状況にあっても教員のさらなる教育上の向上を願っています。 ○先生方の縦横の関係を柔軟さを活かして、日々の教育面や指導に生かして頂ければ期待。 ○教員の皆様には多くの期待がかかり、大変な中、向上心をもって生徒一人一人と向き合われていること、大変ありがたいと思っています。今後とも効率的な学校運営をよろしく願います。	
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特徴を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							【保護者458名回答】 94.3%
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。							
た 自 個 別 の 目 標 び く 5 を い き 支 え ら し ま す と す き る	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整え、相対的な充実を図ること、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	【児童アンケート】 「自分は、毎日の学校が楽しい」に「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した割合 4:90%以上 3:85%以上 2:80%以上 1:80%未満	4: 3: 2: 1:	○週1回の生活指導夕会や月1回の運営プロジェクトで情報を共有するとともに、月1回の特別支援校内委員会にて特別支援担当教員と情報交換をしたり、指導についての確認したりした。特別支援全体会を行い、全教員で支援を要する児童についての情報共有を行った。特別支援教育のあり方について全教員が理解を深めるために、特別支援学級の教員を招聘した研修会も実施し、理解を深めた。 ○月1回、不登校対策委員会を開き、不登校児童の情報を共有した。また、登校に向けた個別の指導計画書を作成して、不登校対策に取り組んだ。学年会や生活指導部会で話題にしたり、養護教諭に相談したりすることで組織的に対応することができた。 ○夏季休業中に児童の問題行動やいじめの対応に関する研修会を開いた。また、毎週、児童の学校生活状況について全教員で確認する機会を設けた。今後も普段の道徳の授業や月1回の人権タイムで児童のよさを認め、自己肯定感を高めたり個性を伸ばしたりしていきいきとする。 ○月1回の教育相談日や校長相談日、5年生の全員面談を実施し、児童や保護者の思いに寄り添う取組をしてきた。	A B C D	8 2	○個人一人一人の「力」を伸ばしているよう実施されているのを感じます。 ○いじめ問題は早く気が付くことが重要であります。なんと小さな問題から少しでも動くことができればと思います。 ○新会長は特別支援学校の役員をされているのでアドバイスももらってはいかが。わが町会の理事のお子さんも特別支援学校に通わせているので意見を聞いてみます。町会との連携が必要である。 ○インクルーシブ教育という新しい内容の教育をする教員に感謝します。 ○多様・多様な児童のいる学内において、教員の方々の多大なる配慮は心より感謝申し上げます。 ○会議・指導を実施したとありますが、誰が、いつどのように実施したか具体的に開示してほしい。 ○様々な支援が必要なお子様に向き合われていること、感謝申し上げます。今後とも担任の先生のみならず、スクールカウンセラーの方などと連携した組織対応を引き続きよろしく願います。	
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。							【児童438名回答】 89.9%
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
安 柔 個 心 別 な 目 標 育 造 6 環 境 な を 学 び ま す と 安 全	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	【保護者アンケート】 「学校は、施設・設備を子どもの安全に留意して整備していると思う」に「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した割合 4:85%以上 3:80%以上 2:75%以上 1:75%未満	4: 3: 2: 1:	○校外学習に出かけるときには必ず安全な道を通ることを心掛け、下見をきちんと行い、計画を練り安全に実施することができた。でんしよう応援団やPTAの協力による見守りや付き添いにより、教育活動を充実させることができた。 ○危険や災害に対する教育を計画的に行った。様々な状況を想定して避難訓練を行ったり、安全タイムにおいて安全な生活について考える場を設けたりした。 ○月1回の安全点検を行い、全教職員の目で危険箇所を探し、修繕すべきところを確認した。校舎の改築工事中において、安全上、お知らせすべき内容はまなびポケット、文書等により発信していく。休み時間等、児童が安全に遊べるように複数の教員による見守りを行ってきた。今後も継続していく。	A B C D	10	○先生の数が減少している問題はぜひ国や区等への働きかけが重要かと思えます。 ○学校外での学習に対しては生徒の安全に注意を払っているようです。生徒の自主性を伸ばせるように努力して下さることを望んでいます。 ○今年度からの校舎建て替え工事開始による生徒連への安全面にはくれぐれも配慮頂きたいと思っております。 ○通学路に対して災害を想定しての大谷石、ブロック塀等の危険性を教えるべき。 ○校外学習に出かけた先生と生徒さんにすれ違いましたが、先生が最前列と最後尾にいて生徒さんを見守り、生徒さんもちやんと挨拶をされていてよかったです。またでんしよう応援団やPTAの見守り、付き添いがすばらしいです。 ○建て替え工事に伴う登下校時における安全確保について今後ともよろしく願います。	
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							【保護者458名回答】 95.5%
		③校舎の改築に伴い、子どもたちに安心、安全な学習環境を整えている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
学 校 別 の 目 標 を こ の 目 標 に あ ら わ せ て 実 現 さ し ま す と 協 働 し て 協 働 し て 協 働 し て	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	【保護者アンケート】 「学校は地域の力を子どもたちの教育活動に生かしている」に「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した割合 4:85%以上 3:80%以上 2:75%以上 1:75%未満	4: 3: 2: 1:	○学校支援地域本部「でんしよう応援団」とPTAと連携して、夏のわくわくスクールを実施し、外部講師を招聘した講座を実施した。延べ児童数1061名の参加があった。保護者や地域の方々165名の協力が得られた。今後はさらに学校支援地域本部と連携し、地域の人材や資源を生かした学校づくりを進めていく。 ○登下校の見守りについては、PTAと教員で朝と放課後に見守り活動を行うことができた。また、見守りで気になったことを話し合いの話題に挙げ、周知できた。 ○毎月発行する学校便りや毎週発行する学級便り、その他関係書類を電子配信し、利便性と即時性の向上を図った。今後もペーパーレスへの理解と協力を得ながら、教育活動の発信を行っていく。 ○ホームページやまなびポケットを活用し、継続して教育活動を発信している。(週に2~3回更新)	A B C D	10	○他分野の方々と接する機会がさらに増えていくことを望みます。 ○PTA、応援団、地域、学校が一体となって各種行事をやったことだ。 ○地域のイベントへぜひ数多くの児童を紹介ください。 ○見守りパトロールは永く継続していきます。 ○PTAでは引き続き地域と連携して子どもたちの見守りをしっかりとりたいと思います。 ○学校―家庭―地域とのさらなる連携を期待します。 ○見守りがない細い道や四つ角などの児童たちの歩行マナーについて、交通ルールを守るようさらなる指導をお願いしたい。理由として、車や自転車にも危険が多く見られる為。 ○下校時の見守りが不足している。町内等に協力して月1回でもよいので下校時間に対応していただきたい。 ○コミュニティスクール導入によって学校と地域が一体となって協力し合って、ますます田園調布小学校が素晴らしい学校になっていくと思っております。 ○コミュニティスクールのスタートとともに、より一層地域の方との連携が深まり、地域への愛着をもったことが増えていられることを期待しています。	
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							【保護者458名回答】 98.5%
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す